

# 2016年度第3四半期 決算説明会

2017年1月31日  
株式会社村田製作所

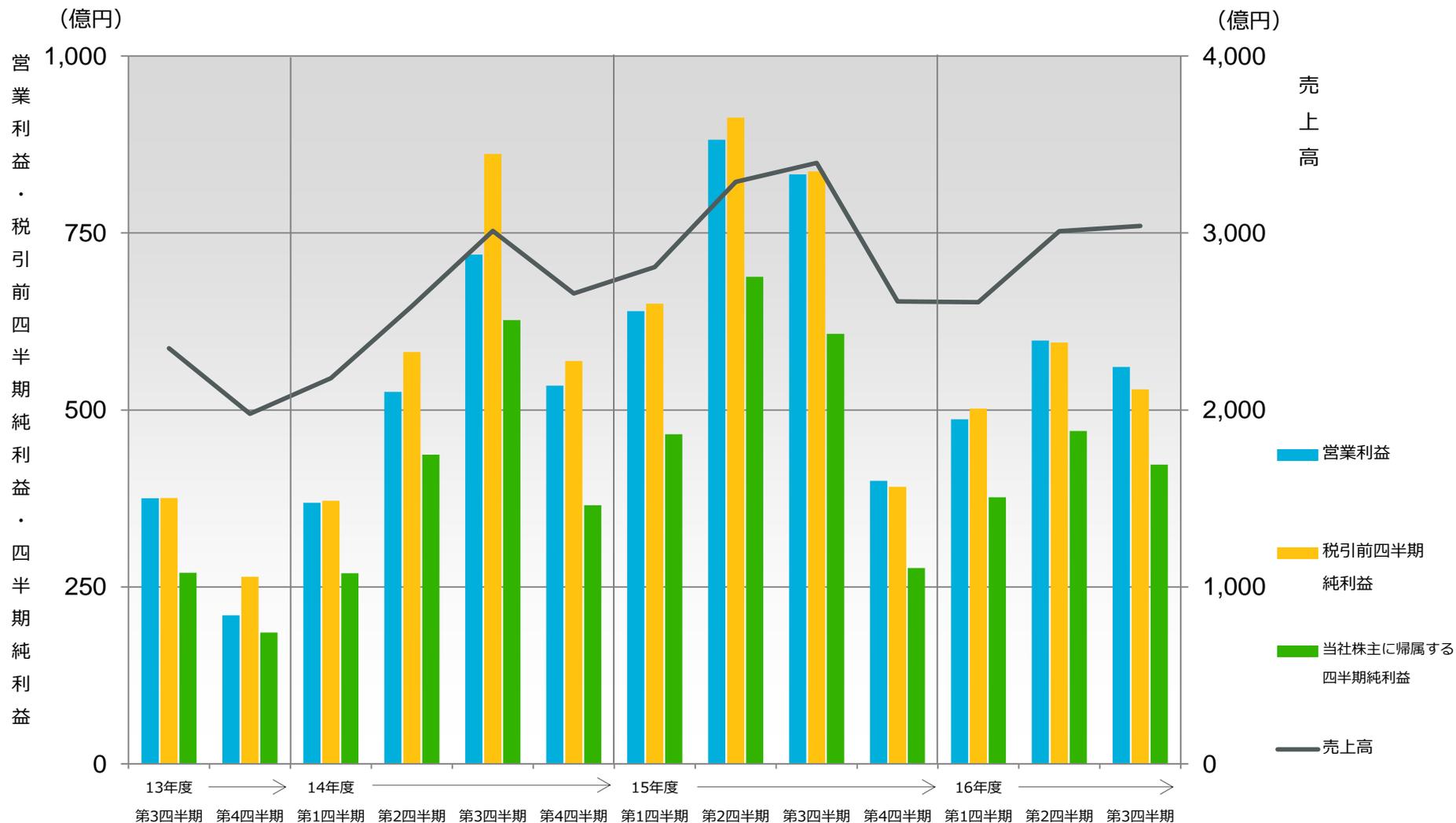


# 1. 2016年度 第3四半期業績概要

2016年10月～2016年12月  
第3四半期連結会計期間

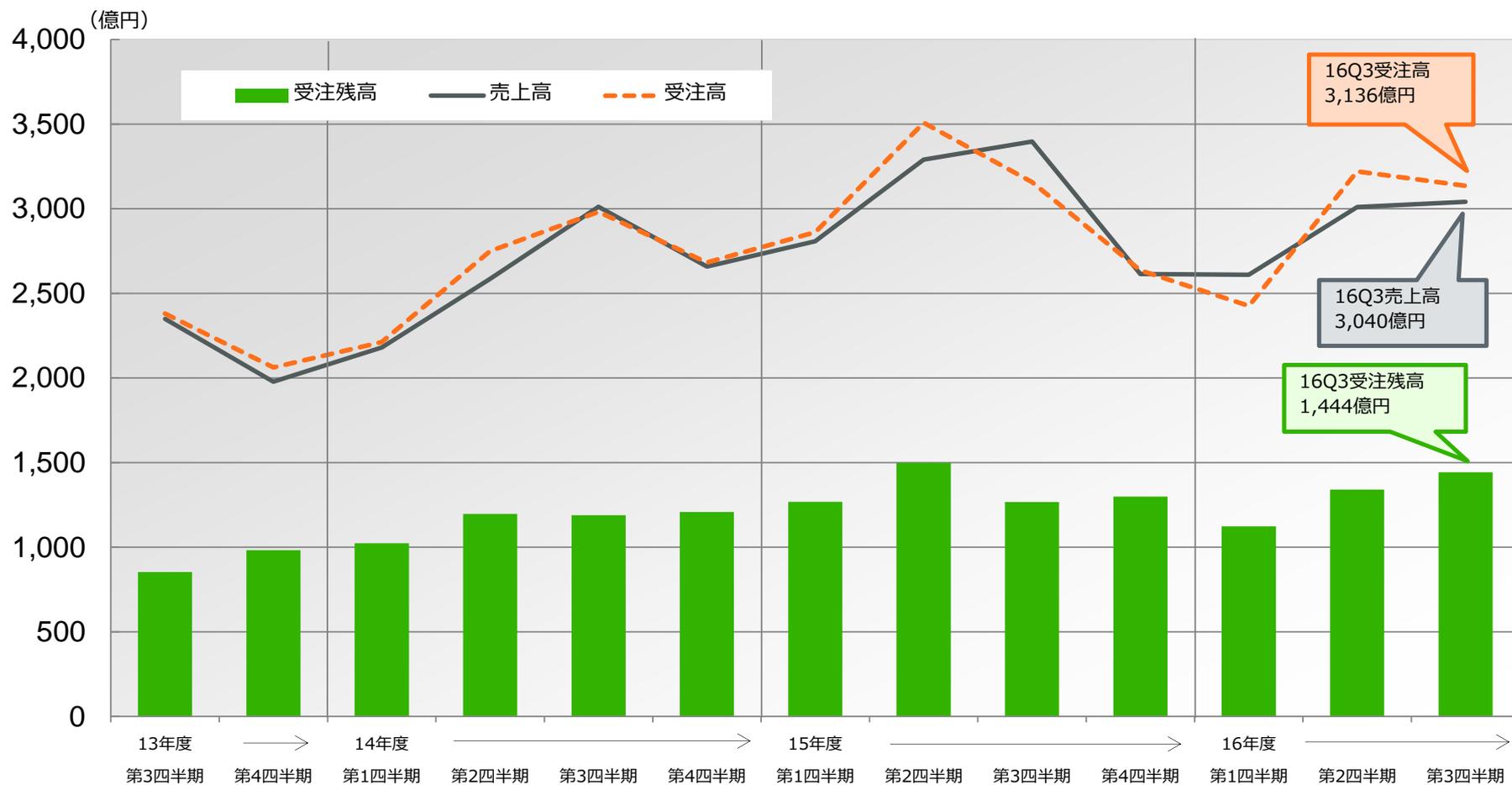
- 当第3四半期の売上高は、コンデンサやコイルなどの汎用部品や表面波フィルタが、需要堅調で前年同期比増収となったものの、通信モジュールが円高に伴う為替変動や特定顧客向けの採用数の変動で同比減収となり、全体で前年同期比10.5%の減少。
- 当第3四半期の営業利益は、売上高の減少に加え、円高に伴う為替変動と将来の需要増加に対する投資関連費用の増加により、前年同期比32.7%の減少。営業利益率は18.4%。
- 営業利益は通期の営業利益予想に対して82%の進捗。

# 業績推移 [四半期]

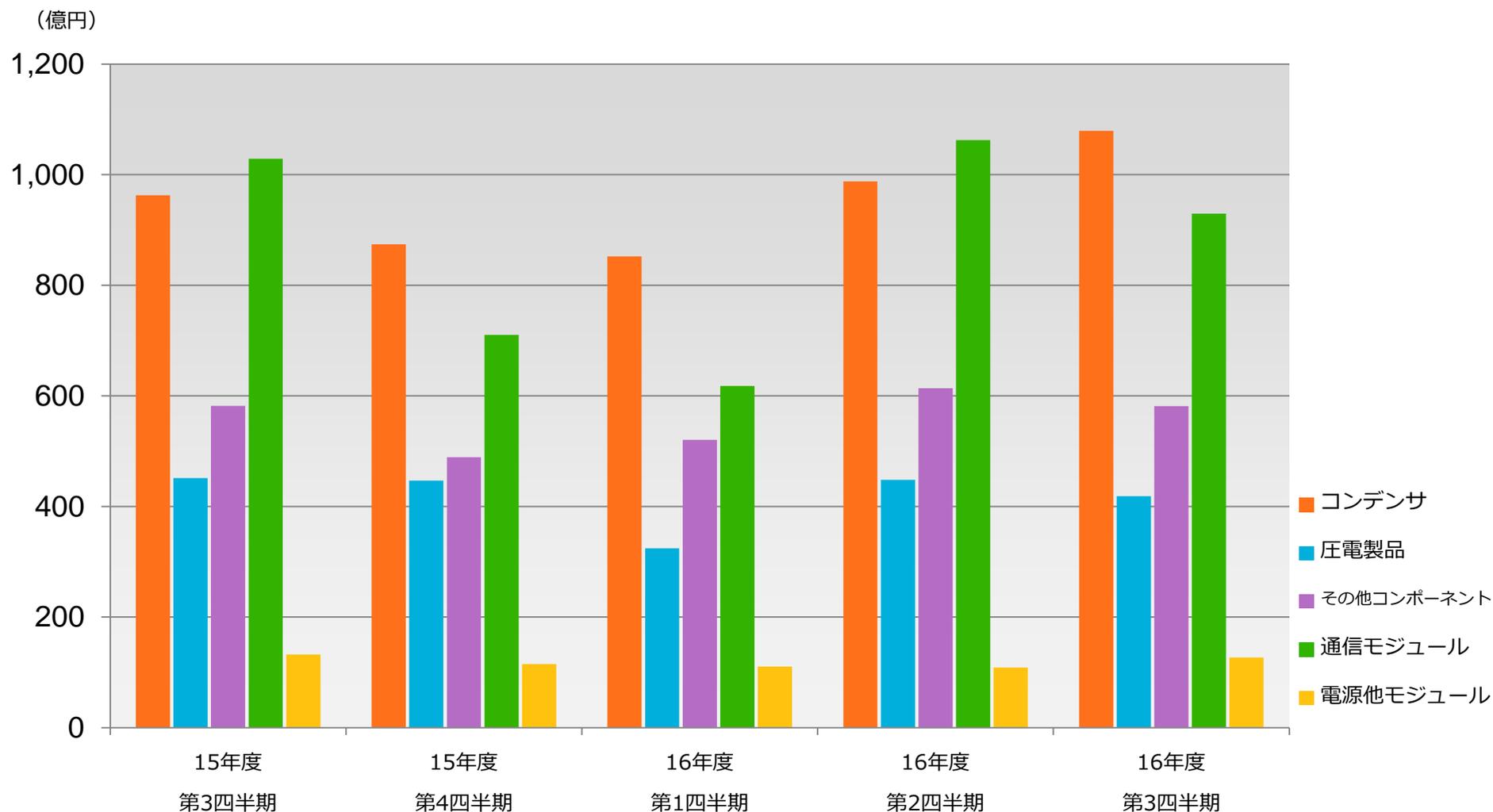


	2015年度 第3四半期		2016年度 第2四半期		2016年度 第3四半期		前年同期比 16Q3/15Q3		直近四半期比 16Q3/16Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	3,397	100.0	3,010	100.0	3,040	100.0	▲357	▲10.5	+30	+1.0
営業利益	833	24.5	598	19.9	561	18.4	▲272	▲32.7	▲37	▲6.3
税引前四半期純利益	837	24.6	595	19.8	529	17.4	▲308	▲36.8	▲66	▲11.1
当社株主に帰属する 四半期純利益	608	17.9	470	15.6	423	13.9	▲185	▲30.4	▲47	▲10.1

# 売上・受注・注残推移 [四半期]



# 製品別受注高推移



# 製品別売上高

	2015年度		2016年度		2016年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		16Q3/15Q3		16Q3/16Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	972	28.7	931	31.0	980	32.4	+8	+0.8	+49	+5.3
圧電製品	435	12.9	444	14.8	449	14.8	+14	+3.3	+5	+1.2
その他コンポーネント	621	18.3	593	19.7	592	19.5	▲29	▲4.7	▲1	▲0.1
通信モジュール	1,230	36.3	920	30.7	901	29.7	▲328	▲26.7	▲18	▲2.0
電源他モジュール	130	3.8	115	3.8	110	3.6	▲20	▲15.3	▲5	▲4.3
製品売上高計	3,388	100.0	3,003	100.0	3,033	100.0	▲355	▲10.5	+30	+1.0

# 製品別売上高概況

[2016年度第2四半期→2016年度第3四半期]

コンデンサ (直近四半期比+ 5. 3%)	○ <b>チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC)</b> AV機器向けが低調も、中国スマートフォン向けで小型品・小型大容量品が堅調なほか、カーエレクトロニクス向け、コンピューター及び関連機器向けも好調
圧電製品 (直近四半期比+ 1. 2%)	○ <b>表面波フィルタ</b> 中国スマートフォン向けが堅調に推移 ○ <b>圧電センサ</b> 超音波センサが車の安全装置向けに大きく伸長
その他コンポーネント (直近四半期比▲ 0. 1%)	○ <b>コイル</b> 高周波用チップコイルがスマートフォン向けで増加 ▲ <b>コネクタ</b> スマートフォン向けで採用モデルの員数低下により減少
通信モジュール (直近四半期比▲ 2. 0%)	○ <b>近距離無線通信モジュール</b> スマートフォン向けが減少したものの、ノートPC向けが好調 ▲ <b>通信機器用モジュール/多層モジュール</b> スマートフォン向けで得意先の採用数の低下で減少
電源他モジュール (直近四半期比▲ 4. 3%)	▲ <b>電源</b> アミューズメント向けが減少

# 用途別売上高

	2015年度		2016年度		2016年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		16Q3/15Q3		16Q3/16Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	118	3.5	119	4.0	117	3.8	▲1	▲0.9	▲3	▲2.3
通信	2,177	64.3	1,784	59.4	1,742	57.4	▲435	▲20.0	▲43	▲2.4
コンピュータ及び関連機器	436	12.8	412	13.7	458	15.1	+22	+5.1	+45	+11.0
カーエレクトロニクス	389	11.5	407	13.6	442	14.6	+53	+13.6	+34	+8.5
家電・その他	268	7.9	279	9.3	275	9.1	+6	+2.4	▲5	▲1.7
製品売上高計	3,388	100.0	3,003	100.0	3,033	100.0	▲355	▲10.5	+30	+1.0

(注) 当社推計値に基づいております

# 用途別売上高概況

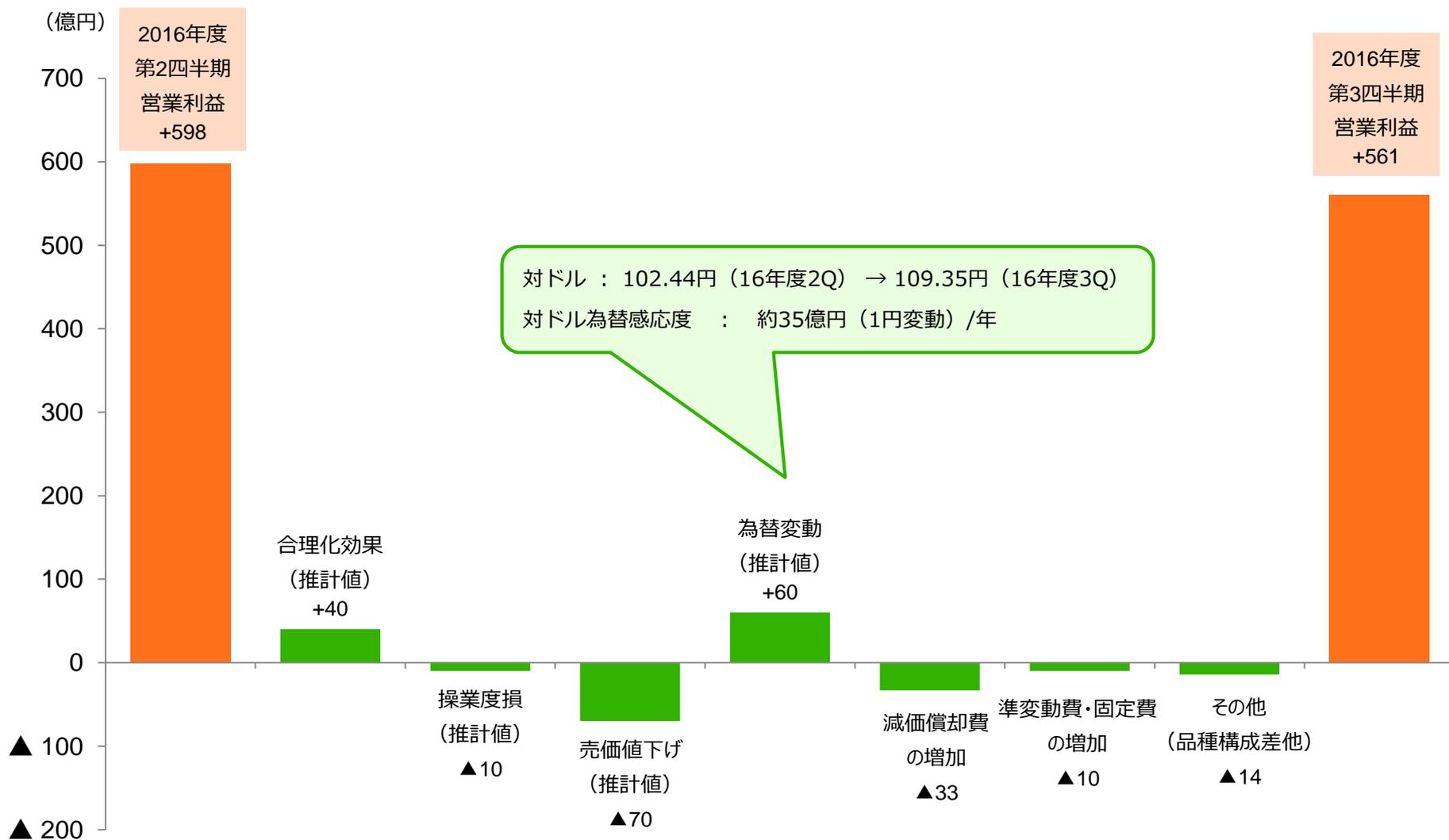
[2016年度第2四半期→2016年度第3四半期]

A V (直近四半期比▲ 2. 3%)	○ デジタルカメラ向けで近距離無線通信モジュールが増加 ▲ ゲーム機向けでコンデンサが振るわず
通信 (直近四半期比▲ 2. 4%)	○ 中国スマートフォンの高機能化に伴いコンデンサ、高周波コイルが好調 ▲ ハイエンドスマートフォン向けで当社製品搭載モデルの生産量減少や、得意先の採用数の低下により、近距離無線通信モジュール、通信機器用モジュール、多層モジュールが減少
コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比+ 11. 0%)	○ ノートP C向けに近距離無線通信モジュール、小型大容量コンデンサが伸長 ○ 大容量H D D向けでショックセンサが好調
カーエレクトロニクス (直近四半期比+ 8. 5%)	○ 電装化の進展により、車載用コンデンサが好調 ○ インフォテインメント向けに車載用近距離無線通信モジュールが伸長

(注) 当社推計値に基づいております

# 利益変動要因

[2016年度第2四半期→2016年度第3四半期]



## 2. 2016年度 業績予想

2016年4月～2017年3月

# 2016年度 業績予想

	前回予想 (16年4月)			今回予想					
	上期予想	下期予想	2016年度 通期予想	上期実績		下期予想		2016年度 通期予想 (10月時予想)	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	6,200	6,050	12,250	5,619	100.0	5,531	100.0	11,150	100.0
営業利益	1,250	1,150	2,400	1,085	19.3	915	16.5	2,000	17.9
税引前当期純利益	1,260	1,150	2,410	1,097	19.5	933	16.9	2,030	18.2
当社株主に帰属する 当期純利益	930	850	1,780	847	15.1	713	12.9	1,560	14.0

10月公表値の見直しを行っておりません。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

